

2019.06.26

コチ コンサルティング

6月21日、上海市では2018年度の社会平均賃金が正式に公表され、8,765元/月(前年比22.9%増)でした。《社会保険費率引下げ総合法案》(国务院、4月4日通知)に併せ、社会平均賃金の計算方法が修正された結果と判断されます。各地でも前年度の社会平均賃金が公表され、上昇率が高騰した地域も少なくありません。本号では主要地域の賃金、社会保障の最新指標を報告致します。

【ご案内】

I. 日本本社中国事業関係者向け【2019上半期中国最新人事・労務動向報告セミナー】

7月5日 東京開催 <http://cochicon.com/3117.html>

II. 最新報酬・福利施策把握の為に【人事管理一斉調査通年調査】

通年実施/個別ベンチマーク報告送信(無料) <https://cochicon.com/general-survey/>

III. 会員企業日本人管理者向け【ひざ詰め勉強会】

通年定期開催 <http://cochicon.com/3180.html>



HR Café

注目Q & A

日中社会保障協定締結後、上海で外国人にどのような影響がありますか？(Q&A)

[リンク](#)

上海では3回目以上の固定期間労働契約満了時に契約終了をすることはできますか？(Q&A)

[リンク](#)

内容【人事・労務情報】

- 各地の賃金・社会保障 最新指標～各地で社会保険基数計算方法変更による異変発生～【全国】
- 2018年上海市社会平均賃金～国务院政策に合わせた異例の措置実施～【上海】

■各地の賃金・社会保障 最新指標 ～各地で社会保険基数計算方法変更による異変発生～

●社会平均賃金 7月に社会保険基数 (<https://cochicon.com/405.html>)、住宅積立金基数

(<https://cochicon.com/364.html>) の更新を実施する地域が多く、更新に併せて、2018年度社会平均賃金が続々と発表されています。《社会保険費率引下げ総合法案》(<https://cochicon.com/2863.html>)では雇用維持の為に企業雇用コスト軽減策として、社会保険費用負担を引き下げる施策が通知されていますが、社会保険基数計算方法変更(<https://cochicon.com/3157.html>)に伴い、社会平均賃金が著しく上昇した地域もあります。下表の赤字は今期の上昇率が前期上昇率を上回った地域です。

	2010	上昇率	2011	上昇率	2012	上昇率	2013	上昇率	2014	上昇率	2015	上昇率	2016	上昇率	2017	上昇率	2018	上昇率	最新/ 2010年
上海	3,896	9.3%	4,331	11.2%	4,692	8.3%	5,036	7.3%	5,451	8.2%	5,939	9.0%	6,504	9.5%	7,132	9.7%	8,765	22.9%	125%
北京	4,201	4.1%	4,672	11.2%	5,223	11.8%	5,793	10.9%	6,463	11.6%	7,086	9.6%	7,706	8.7%	8,467	9.9%	未	NIL	102%
広州	4,541	10.7%	4,789	5.5%	5,313	10.9%	5,808	9.3%	6,187	6.5%	6,764	9.3%	7,425	9.8%	8,218	10.7%	9,320	13.4%	105%
深セン	4,205	8.0%	4,595	9.3%	4,918	7.0%	5,218	6.1%	6,054	16.0%	6,753	11.5%	7,480	10.8%	8,348	11.6%	9,309	11.5%	121%
天津	3,128	12.0%	3,520	12.5%	3,872	10.0%	4,260	10.0%	4,686	10.0%	4,944	5.5%	5,265	6.5%	5,607	6.5%	未	NIL	79%
大連	3,718	15.1%	4,144	11.5%	4,568	10.2%	4,922	7.7%	5,301	7.7%	5,783	9.1%	6,147	6.3%	6,824	11.0%	7,097	4.0%	91%
青島	2,379	12.4%	2,730	14.8%	3,117	14.2%	3,557	14.1%	4,038	13.5%	4,476	10.8%	4,910	9.7%	5,309	8.1%	5,683	7.0%	139%
南京	4,065	11.8%	4,559	12.2%	5,034	10.4%	5,532	9.9%	6,068	9.7%	6,756	11.3%	7,516	11.2%	8,459	12.5%	未	NIL	108%
蘇州	3,797	14.0%	4,305	13.4%	4,802	11.5%	5,118	6.6%	5,580	9.0%	6,025	8.0%	6,656	10.5%	7,279	9.4%	未	NIL	92%
杭州	2,861	12.6%	3,236	13.1%	3,541	9.4%	3,903	10.2%	4,287	9.9%	4,659	8.7%	5,098	9.4%	5,587	9.6%	6,140	9.9%	115%
寧波	2,808	7.7%	3,179	13.2%	3,609	13.5%	4,077	13.0%	4,479	9.9%	4,796	7.1%	5,112	6.6%	5,465	6.9%	9,079	66.1%	223%
成都	2,543	11.9%	2,834	11.4%	3,185	12.4%	3,970	24.7%	4,307	8.5%	4,790	11.2%	5,111	6.7%	5,425	6.1%	7,334	35.2%	188%
重慶	2,944	14.1%	3,337	13.3%	3,783	13.4%	4,252	12.4%	4,738	11.4%	5,175	9.2%	5,616	8.5%	6,106	8.7%	6,814	11.6%	131%
無錫	3,869	7.1%	4,198	8.5%	4,615	9.9%	5,048	9.4%	5,587	10.7%	5,990	7.2%	6,512	8.7%	7,085	8.8%	7,924	11.8%	105%
廈門	3,357	10.5%	3,842	14.4%	4,377	13.9%	4,655	6.4%	5,061	8.7%	5,360	5.9%	5,768	7.6%	6,288	9.0%	7,097	12.9%	111%

● **社会保険・住宅積立金基数** 社会保険・住宅積立金とも7月に基数を更新する地域が多く、下表の黄色の地域は2019年度に既に更新された地域です。赤字は近日更新予定と公表されている数値です。住宅積立金の納付比率は昨年より、幅を持たせ、下限を5%に統一する方向性です。

地域	養老保険	医療保険	失業保険	労災保険	生育保険	住宅積立		
						上限	下限	納付率*
上海	4,927-24,633					23,496	2,420	5%~7%
北京	3,613-23,565	5080-25401	36,13-23,565	4,713-23,565	5,080-25,401	25,401	2,273	5%~12%
広州	3,469-17,346*1	4,931-24,654*2	2,100-24,654		4,931-24,654	27,960	2,100	5%-12%
深圳	2,200-17,346	5,009-25,044	2,200	2,200-17,346		27,927	2,200	5%-12%
天津	3,364-16,821					25,983	2,050	5%-12%
大連	4,094-20,427					20,472	1,620	5%-12%
青島	3,185-15,927					22,710	1,868	5%-12%
南京	3,030-19,935					25,300	2,020	5%-12%
蘇州	3,030-21,963					21,900	3,030	8%-12%
杭州	3,321.60~16,608					24,311	2,010	12%
寧波	3,539-17,694					27,237	2,010	5%-12%
成都	2,697-16,179	3,236-16,179				22,302	1,500	5%-12%
重慶	3,664~18,318					20,441	1,800	5%-12%
无锡	3,030-19,935					23,100	2,120	5%-12%
廈門	3,234-16,168*3	3,234-16,168*3	3,234-16,168		3,234-16,168	18,864	2,100	5%-12%
珠海	3,100-20,004	4,001-20,004	1,720-20,253	1,720	医療に含む	20,253	1,720	5%-12%

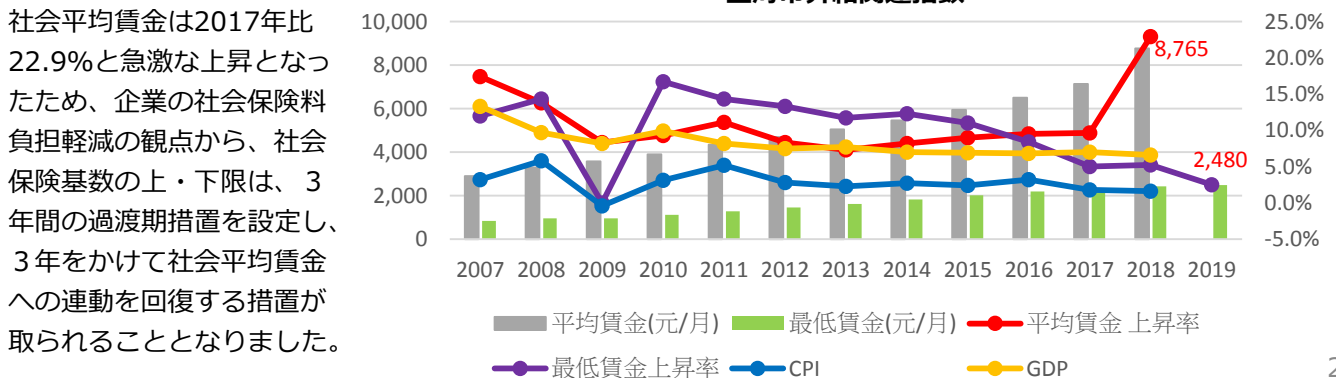
NAVI 社会平均賃金は、**社会保険基数の上下限、住宅積立金の上限の指標**とされていましたが（地域差異あり）、今回の急激な変更により、社会保険基数、住宅積立金基数とリンクしない設定とする地域が増加しています。社会平均賃金は社会保障費用の基数以外に、2008年以降の勤務に対する**経済保証金の上限**（社会平均賃金の3倍を上限とする）、**上海市の傷病休暇賃金上限**（社会平均賃金を上限とすることも可）、労災時の補助金の基数に使用されており、大幅な上昇は雇用コストの上昇要因となります。

NAVI 本年からの所得税改革により、労働契約約定賃金が手取り賃金では、税額計算が難しいことから、これまで手取り契約であった企業の多くが、額面賃金へと変更されましたが、額面賃金約定の場合、社会平均賃金の上昇は社会保険基数の上限上昇につながることから、基数の更新により**手取り額が減額**するケースの多発が考えられます。社会保険基数の上昇は個人の手取り額減額と同時に社会保険**企業負担額の増加**にも直結しており、賃金改定時には社会保険基数の動向を考慮事項とすることが必要となります。

■ 2019年上海市社会平均賃金 ～ 国务院政策に合わせた異例の措置実施～

上海市では例年、社会保険基数の指標となる社会平均賃金が3月末に公表されて来ましたが、本年は3月末に社会保険基数の上・下限の更新のみが公表され、4月には社会保険基数と住宅積立金基数（従来の7月から本年から4月に変更）が更新されました。4月の国务院通知（前項）を経て、5月に新たな社会保険基数計算方法を用いて社会保険基数のみ上・下限が修正され、住宅積立金基数は4月更新を据え置く措置が取られました（上表、上海部分参照）。この間、2018年度の世界平均賃金は公表されず、6月21日に新たな計算方法に基づく2018年度の上海市社会平均賃金が公表されました。2018年度の上海市社会平均賃金は105,176元/年、8,765元/月で確定しました。

上海市昇給関連指数



社会平均賃金は2017年比22.9%と急激な上昇となったため、企業の社会保険料負担軽減の観点から、社会保険基数の上・下限は、3年間の過渡期措置を設定し、3年をかけて社会平均賃金への連動を回復する措置が取られることとなりました。